

もう一度、会いたかった。

ヒューマノイドの君と、
最初で最期の七日間。

LAST LOVE LETTER

ラストラブレター

第11回田辺・弁慶映画祭 映画.com賞&キネママスター賞 W受賞

監督・脚本・編集 森田博之 出演 ミネオショウ 影山祐子 多田亜由美

撮影:荒船泰廣 照明:長田青海 録音:中野雄一 ヘアメイク:矢口陽子 写真:松谷友美 音楽:松田幹 助監督:大橋隆行 演出補:山梶貴久 制作協力:野口聖太郎
撮影協力:銚子電気鉄道株式会社 橙光会 犬吠埼灯台 協力:KEYAKI WORKS CacheCache hairmake 製作:studio so-lars. 2016年 | 58分 | HD | 4:3 | 日本

静謐な時間の中に、大切な伴侶を失った時、人はどうやってその事実と向き合っていくのか、描かれている。SFとして描かれているが、むしろ心象風景としてとらえるべきなのかと感じた。

人はもしかしたら心の中で

こんな時間を過ごして自らを癒し

再生していくのだろうか？

特別な時間を得ることが出来る映画だと思います。

山崎貴

(映画監督)「シン・クロニクル」「永遠の0」「DESTINY 鎌倉ものがたり」

後悔しないで生きていくことは難しいけれど、

「ごめんね」と「ありがとう」があれば

愛は伝えられるのだと思います。

福岡晃子 (チャットモンチー)

美しい景色に美しい映像、ロマンチックな音楽が流れ

白日夢のように物語は展開していく。

私たちには日常で当然の食事のシーンからの

1日の終わりも、ちょっと涙が滲むような

幸せな時間の流れが2人の信頼関係と

愛と切なさを象徴的に描いていて心に残る。

使われている言葉の深みや掛け合いの面白さも

是非丁寧に聞いて頂きたい。

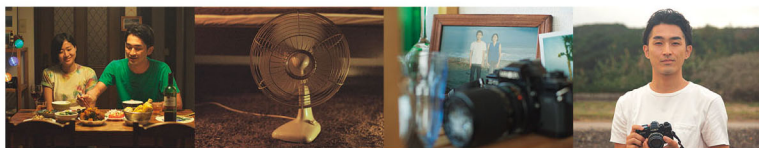
佐伯日菜子 (女優)

100%SFラブストーリー

ヒューマノイドとして帰って来た死別した妻との2週間を切なく描いた本作。何気ない日常を丁寧に描くことで、残された者の悲しみを静かに映し出している。2017年、第11回田辺・弁慶映画祭で映画.com賞とキネママスター賞をW受賞。テアトル新宿で開催された同映画祭のセレクション上映では満席で初日を迎えるなど好評を博した。SKIPシティ国際Dシネマ映画祭、札幌国際短編映画祭でも上映された。森田博之の監督は日本映画学校(現日本映画大学)在学中から自主制作映画を監督し、本作は自身の実体験をもとに創作。敬愛する小津安二郎監督にオマージュを捧げ、近未来だがごこかレトロで懐かしい世界を作り出した。撮影はMV監督である荒船泰廣。主演は『私以外の人』(15)、『CRYING BITCH』(17)、『さくらになる』(18)のミネオショウと、『名前のない女たち〜うそつき女〜』(18)の影山祐子。唐組出身の多田亜由美がヒューマノイドのセールスマンを演じている。

そこには、悲しみを忘れさせてくれるヒューマノイドがいる。

突然の事故で妻の晶子を失った隆。2年が過ぎても、写真家だった晶子が撮った作品に囲まれた生活をしてきた。未だに大きな喪失感を抱える隆は、晶子をヒューマノイドとして蘇らせることを決意する。そしてある夏の日、“彼女”がやってきた。しかし“彼女”が起動しているのは2週間のみ。蘇った晶子との最後の生活が始まる。



ラストラブレター

監督・脚本・編集: 森田博之 出演: ミネオショウ 影山祐子 多田亜由美
製作: studio so-lars. 2016年 | 58分 | HD | 4:3 | 日本

@LLL_film lastloveletter_movie
lastloveletter-movie.com

2019.2.23(土)~3.1(金) 21:10 1週間限定
レイトショー!

◆特別鑑賞券¥1,200(当日一般¥1,500のところ)劇場窓口にて発売中

ユーロスペース EUROSPACE
渋谷・文化村前交差点左折
03(3461)0211
eurospace.co.jp